

会 議 録

1 会議名

令和3年度第5回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・くわどり湯ったり村の今冬の営業について（公開）

【協議事項】

- ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（公開）

3 開催日時

令和3年11月26日（金）午後6時30分から午後7時44分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 坪田 剛（会長）、金森幸雄（副会長）、安達麻美、佐藤寿美子、
佐藤峰生、田村 隆、荷屋和夫、平野コトミ、水嶋豊秋
（欠席者3名）
- ・施設経営管理室： 竹下室長、小関係長
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、千田主任

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【坪田会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：安達委員に依頼

議題【報告事項】くわどり湯ったり村の今冬の営業について、担当課へ説明を求める。

【施設経営管理室：竹下室長】

- ・挨拶

【施設経営管理室：小関係長】

- ・「くわどり湯ったり村の今冬の営業について」に基づき説明

【施設経営管理室：竹下室長】

引き続き、「ゆったりの家の適正配置計画の取組方法の変更について」口頭にて報告させていただく。ゆったりの家の適正配置計画における取組については、地域団体の利用が主であることから、当該利用団体への貸付又は譲渡を推進し、令和3年度末で施設条例を廃止するという内容になっていた。この間、NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部、地元の町内会に説明をさせていただき大まかな了解はいただいている。しかし、かみえちご山里ファン倶楽部との協議において、施設の譲渡や長期間の貸付の希望がなかった。また、施設条例を廃止し、施設を普通財産にしたとしても、市で資産を保有している限り、一定の維持管理経費が公の施設であっても普通財産であっても同じくかかってしまうという状況もある。さらには、施設条例を残したまま、施設の在り方、活用方策を再度ゼロベースで検討させていただくという方向性を新しい市長から指示があったので、まずは取組方法の変更をさせていただきたいと考えている。

【坪田会長】

くわどり湯ったり村の今冬の営業、ゆったりの家の今後の方向性の説明に対し質疑を求める。

くわどり湯ったり村の今冬の営業内容は、上越市全般に周知されるのか。

【施設経営管理室：竹下室長】

くわどり湯ったり村の営業日、営業時間の見直しについては、市から報道機関に対して情報提供をさせていただく。

【坪田会長】

他に質疑を求めるがなし。

次に【協議事項】「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について、事務局へ説明を求める。

【千田主任】

- ・資料No.1 「『地域協議会に関する意識調査』結果を受けた取組について（各地域協議会において取組を検討する項目）」に基づき説明

【坪田会長】

説明に対し意見を求める。

【佐藤峰生委員】

意見交換について、町内会長連絡協議会と地域協議会が過去に意見交換をしたことがあるが、今はコロナ禍であり、私たち地域協議会委員が、地域の課題をこの場に持ち寄るのは難しい部分もある。町内会長連絡協議会や地域の団体と、話し合いをする機会を持てれば良いが、持てないようであれば、それぞれの団体からこの場にテーマを出してもらい、それについて地域協議会委員が意見交換をして、また別の機会と一緒に話し合いをした内容について話をするなど、何回か機会を設ける形にして、この地域の一番検討しなければならない課題を浮き彫りにしていくように計画してはどうかと思う。

【坪田会長】

佐藤峰生委員の意見は大切なことであるが、その各団体から意見をもらうための団体内での意見交換がコロナ禍のために開催できていない。開催いただいて、いろいろな意見、提案、考え方を地域協議会に提出なり提案していただくということであると、どうしてもコロナがネックになってしまう。他に意見はないか。

【佐藤峰生委員】

集まらなくても意見を集めることができると思う。例えば、地域協議会で話題を決めて、町内会長連絡協議会に投げかけて、それに対して意見を出してもらう。そういうキャッチボールは集まらなくてできると思う。こういう時期だからこそ、逆にそういうのをやっていくべきだと思う。

【坪田会長】

アンケート的なものということか。いずれにしても、地域で困っていることがわからないことには、こちらで協議してみようがないのでいい提案だと思う。それに関して意見を求める。

【金森副会長】

なかなか難しい。私以外にも同様の立場の委員もおられるが、私はこの場では地域協議会委員であって、町内に帰れば町内会長という立場である。町内会長や活動団体との意見交換という場面では、果たしてどちらの立場で物を言ったらいいのか戸惑いがある。

町内会長の立場で言わなければいけないのか、地域協議会委員としての立場をわきまえて言わなければいけないのか。この資料を見たときに、悩ましいところだなと思った。悩んでいれば、意見も出しにくくなってくる。情報を掴むということにおいてはどんな情報であろうと大事な情報なので、大切に扱っていかなければいけないと思うが、その情報について、ある程度の順位づけの判断をするには立場的には難しく、自分で自分を責めるような格好になると感じている。こうしたほうがいいと今のところはっきり申し上げられないので、考えてみたいと思う。

【坪田会長】

他にどうか。

この立場からすると、他からの団体、いろいろな施設から意見をいただいて、その中で意見を揉んで、よりよいものの方向づけをするべき地域協議会でもあるが、その前段の部分でつまづいているので、スムーズな運営ができないのが、この会議のみならず他にもそうだと思う。事務局案として記載されているが、町内会長、各団体と年1回定例的に開催する方法と、佐藤峰生委員が言われたように、他の各団体から意見を求めて、それを書面において協議をするという方法もある。どちらの方法が良いか、委員の意見を求める。

【佐藤峰生委員】

1月25日発行の地域協議会だよりの中に「地域協議会を積極的に傍聴してください」とあった。ここの会議で、どういうことが話し合われているかを周知するものだと思うが、傍聴の案内を町内会長に出してはどうか。町内会長に来ていただき、意見を言ってもらってもかまわないとしてはどうか。既に、協議会内に町内会長が4人いるがそれ以外の町内会長からも来ていただき、その時にただ来ていただくのではなくて、少なくとも1つ協議するテーマを地域協議会に提案くださいと依頼を出す。全町内会長でも良いが、地域ごとに分けても良いと思う。積極的に参加をしてもらうために引っ張るといふ行動が必要である。

【坪田会長】

傍聴の依頼を個人名で出すということか。事務局に聞くが傍聴人と委員のやりとりはできるのか。

【千田主任】

傍聴者は意見を述べるできないので、実践するのであれば出席者として来てい

ただいて、意見交換という形になるかと思う。

【中村センター長】

佐藤峰生委員の発言の主旨を言い換えるとすれば、全部の町内会長ではなく、地域を限定して一部の町内会長に来ていただいて意見交換をするという形で開催することは可能である。

【坪田会長】

その辺は検討に値すると思う。地域を分けて開催すれば、コロナ禍でもある程度の密にならないので、開催できる可能性はあるのではないかと。

【田村委員】

平成28年度に1回意見交換をやっているようだが、その時の雰囲気はわからないので、具体的にどんな意見が出たのか教えてほしい。

【荷屋委員】

具体的な取組について、こういうふうにしようという話し合いではなかったと思う。だから、前回、今回と資料を配布されているが、悩むことが多く、どれから取り組むか決められない。各地域でスポーツなりレクリエーションは取り組んでいる。そういうものをピックアップして、ここで話し合いをすることはいいと思う。行事は必ず各町内なり団体で行っている。取組については、同じことをしているわけではない。そういうものの意見を出し合い、地域全体で実施することは良いと思う。そうすることで、1歩前進するのではないかと。

【平野委員】

どんな問題が地域にあるのかわからないので、いろいろな地域の方が集まって意見交換するほうがいいと思う。

【水嶋委員】

何回もそういう発言をしてきたと思うが、佐藤委員が言われたことに賛成である。それを実施するにしても、その前の協議会での協議がそこまでいかないでずっときている。事務局にお聞きしたいのだが、他の区はどのようなやり方をしているのか。

【千田主任】

他の区では、過去の例だが町内会長協議会、振興会、地域協議会で一つのテーマについて話し合ったこともある。テーマがない場合は、地域の課題についてどういうものがあるか話し合いをすることもあった。

谷浜・桑取区だと、平成29年度に地域活動団体との意見交換会で活動団体を絞って呼び出して、地域の課題について活動団体の現状を聞いたり、困っていることを聞いたりした。

【水嶋委員】

他の区と比べて谷浜・桑取区はどうか。この地区は全然活性化していない。そういうところまでっていないと思うが、他の区のほうがもっとそういう話合いをしていると考えられるか。

【千田主任】

他の区とあまり変わりはないと感じている。話し合いをして、今後どうしていくかという協議を慎重に皆さんと時間をかけながら進めていくということが、これまでは多かったという印象がある。

【佐藤寿美子委員】

先々月、地域の代表者と社会福祉協議会との話し合いがあったが、同じことをここでもやろうとしている気がする。それならば一緒に行ったほうが良いのではないか。同じことをするために、別々に話し合いをしているよりも、まとまりやすいのではないか。

【坪田会長】

先々月、第1回の社会福祉協議会の委員会が開催された。その時もどういう方向づけをしていいかわからない。そして、出てくる意見は地域協議会で出された意見とほぼ同じである。佐藤寿美子委員は、それをまとめて、どこで最終的な判断をするか、その方向づけが定まっていないことを言っている。頭をどこにもっていくかである。地域協議会でやるのであれば、福祉の関係も含めた中で、関係団体の方と一緒に協議をしたらどうかということである。

意見交換については、今出された意見を踏まえながら今後も考えていくこととする。

会議の運営については、私どもは皆さんが意見を言っている。他の地域協議会では、何も話をしない方が大勢いたり、地域協議会に限らず、町内会長会議等でも、無言のまま帰るという状況が多いと思う。だから、会議の運営については、谷浜・桑取区はとても良い形だと思っている。

会議の開催時間も午後6時半からということで長年このままの形で来ている。時間も概ね1時間程度での会議の内容である。

【佐藤峰生委員】

なるべく、大勢の方に発言してもらおうようにしてほしい。

【坪田会長】

私もなるべく無理強いのないように意見を促すよう心掛けている。

現地視察は、昨年度実施したところ、ほとんどの委員が参加されており、継続して提案場所へ視察できればと考えている。

【金森副会長】

開催日だが、事務局と会長の都合がそろわなければ、この会議は開催できないと思うので、12名の皆さんが、協議して日を決めることは、会長と事務局で決めた日で決めるのと、さほど変わりがないのではないかと。全員の出席という保証がない限り、協議して決めるほどの中身ではないと思う。今までどおり、事務局と会長の間で調整することで良いのではないかと。

【坪田会長】

会議の運営等々については、概ね現状維持でよろしいか。

(賛同の声)

次に情報の発信について、谷浜・桑取区の現状に対して意見を求める。

【金森副会長】

団体の取組についてのお知らせは今のままでいいと思う。例えば、城ヶ峰の整備でこういうことをやったという報告は十分住民の皆さんのところに周知されていると思う。そこに春のかたくりの時期から、夏の謙信公祭、秋の紅葉の時期まで、その地を訪れた人が、どの地域からどういう年代の人が、どれくらい上がってきているのかというデータもあれば読む人も、情報に重みが増すのではないかと。整備も大事であるが、そこに訪れる他区の人々の口コミを期待して、さらにその人がまた友達を呼ぶ、友達の友達を呼ぶというふうにしていけば、この地域の来訪者も少しは増えるのではないかと。今までの活動がある程度目に見えてくるのではないかと。ただ事柄だけの情報ではなくて、もう一歩掘り下げる努力も我々はしなければいけないのではないかと。

【荷屋委員】

副会長から良い提案をいただいた。谷浜地域づくり協議会では、今年は、この地域ばかりではなくて、上正善寺のほうから提案を受けて交流会をした。上正善寺の人と120人規模で交流をし、一緒に散策道の草刈を行った。今年はコロナで活動を広げるわけにできなかった。来年から、今言われたことを念頭に、そういう協力をしていきたいと

思う。

【佐藤峰生委員】

次の地域協議会だよりの発行はいつ頃か。

【千田主任】

今年度中にあともう1号と考えている。

【佐藤峰生委員】

今、金森副会長と荷屋委員の意見をより具体的にするというので、地域協議会だよりの内容を協議のテーマにしてはどうか。情報発信を具体的にどうするかということなので、域協議会の協議テーマの一つに必ずしておくというのはいかがでしょうか。

【千田主任】

今日いただいた意見を資料に取り入れるので、次回確認いただきながら協議をお願いしたい。

【坪田会長】

皆さんの意見を聞きながら揉んでいきたいと思っている。その他に皆さんから意見、質問等ないか。

【田村委員】

皆さんのところに配布されているかわからないが、上越市ハザードマップだが、該当する地域に谷浜・桑取区が入っていない。桑取川が入っていない。

2019年10月に桑取川に大雨が降って西横山だったと思うが、住宅に水が入って大騒ぎしたことがあったと思う。そういう水害が出ているのにもかかわらず、桑取川は大丈夫だと判断するような資料になっているので、どうしてこういう結果になったのかを次回までにお知らせいただきたい。

【中村センター長】

担当課に確認し、次回、説明させていただきたい。

【千田主任】

次回の協議会について、先ほど、副会長の意見で会長と事務局でこれまでどおりの日程調整で良いのではないかという話もあったが、今回は事務局で公民館が空いている日を確認してあるので、差し支えなければ、日程を決めていただきたい。

【坪田会長】

協議の結果、次回協議会は1月20日（木）午後6時半からとする。

次に「その他」として、事務局へ地域活動支援事業の変更について報告を求める。

【千田主任】

谷浜小学校PTAが提案された「児童と地域との交流活動促進事業」について、くわどり収穫祭に小学生のトランペット鼓隊が参加して演奏するということだったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不参加にしたと提案団体から報告あった。

【坪田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp 1

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。